

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年12月24日

計画の名称	瑞浪市における循環のみちの実現												
計画の期間	平成28年度 ～ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	瑞浪市												
計画の目標	下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	913	A	578	B	0	C	335	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	36.69	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R02末)
1	①下水道処理人口普及率を現在の67.2%(H27)から75.2%(R02)に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	67%	69%	75%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接		種別 1	種別 2				H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	瑞浪市	直接	瑞浪市	管渠 (汚水)	新設	入ヶ洞地区面整備 (未普及解消)	Φ150mm L=1.3km	瑞浪市				■		41	—		
	A07-002	下水道	一般	瑞浪市	直接	瑞浪市	—	—	効率的な事業実施のための検討等	調査・検討 一式	瑞浪市	■					10	—		
	A07-003	下水道	一般	瑞浪市	直接	瑞浪市	終末処理場	新設	汚水処理施設共同整備	施設工事	瑞浪市	■	■				527	—		
		MICS事業																		
											小計						578			
											合計						578			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	瑞浪市	直接	瑞浪市	終末処 理場	新設	汚水処理施設共同整備（ 効果促進）	施設工事・車両購入	瑞浪市	■					115		—
		（施設工事）基幹事業である施設と一体的に行うことにより、コストの縮減が図れる。（車両購入）集約運搬することで市街地での環境に配慮した事業実施が可能になる。 MICS事業																	
	C07-002	下水道	一般	瑞浪市	直接	瑞浪市	終末処 理場	改築	汚水処理施設共同整備（ 効果促進）	汚水処理施設改築（撤去処分 ）	瑞浪市					■	220		—
		施設の統廃合により経費の削減ができる。																	
											小計						335		
											合計						335		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

瑞浪市建設部内にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和3年12月

公表の方法

瑞浪市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

・山田町入ヶ洞地区の面整備において、下水道管渠布設L=0.7kmを施工し、当該地域の健全な水環境の形成と公衆衛生を図った。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

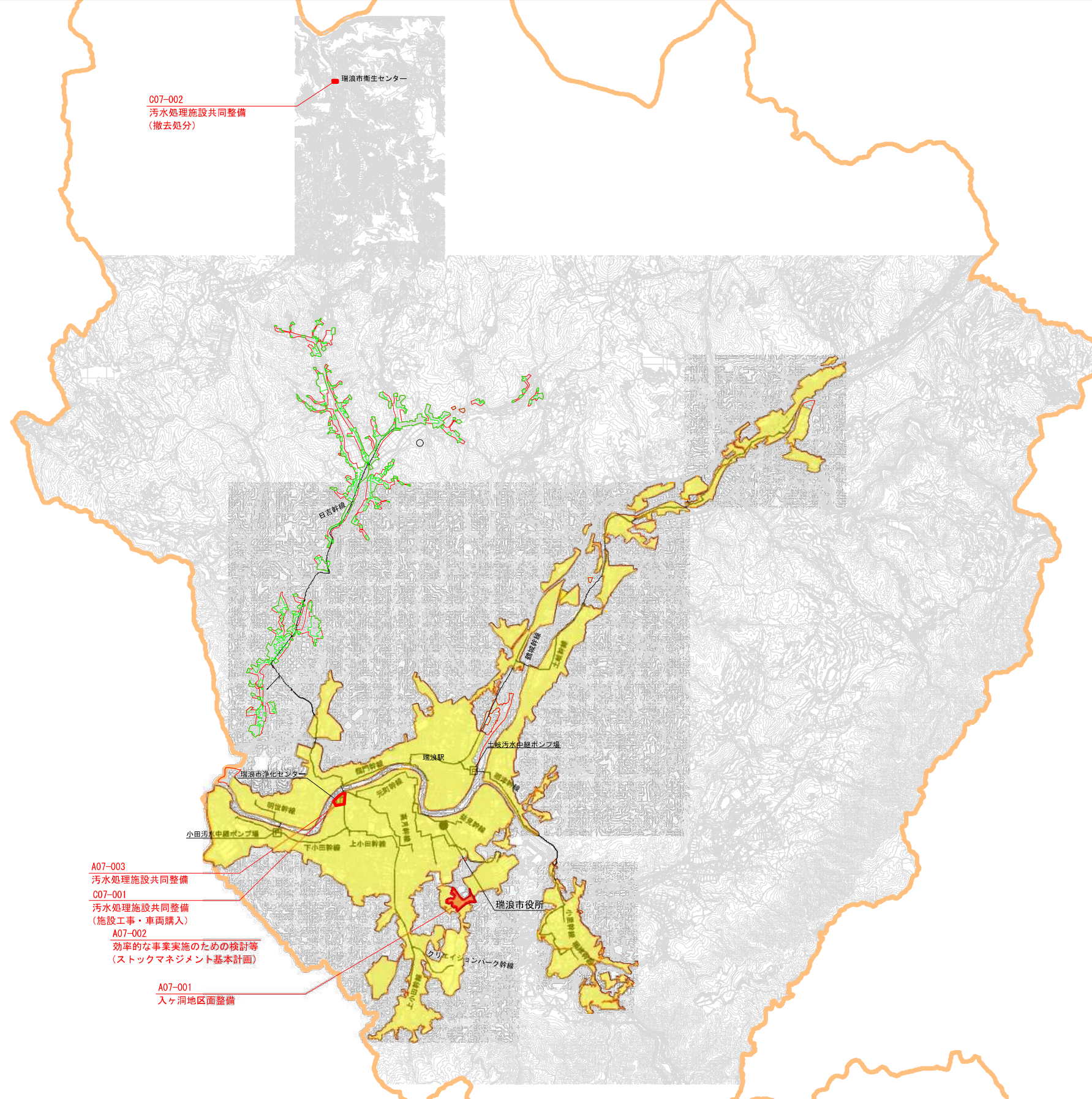
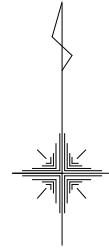
・MICS事業の計画時に算定した事業費に関して、7億円弱の事業費を見込んでいたが、8億円強の総事業費となった。しかし、従来の施設の建て替えによる事業費である26億円と比較しても、安価に事業効果を発揮できた。  
・大型運搬車の導入より、交通量が軽減し、近隣への影響を抑えた。  
・臭気対策として、新設の受け入れ施設に二重扉を設け、負圧に保つことで、近隣への影響を抑えた。

○特記事項（今後の方針等）

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	75%
	最終実績値	72%
		農業集落排水の公共下水道への供用開始が令和3年4月1日のため、令和2年度末の下水道処理人口普及率の実績値に反映せず、令和3年度に反映される。予測値は約76%。

社会資本総合整備計画

計画の名称	瑞浪市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成28年度	～	令和2年度（5年間）
	交付対象	瑞浪市	



凡 例

	行政界
	全体計画区域
	認可計画区域
	既整備区域
	既設幹線
	污水中継ポンプ場
	下水処理場

A07-003  
污水処理施設共同整備

C07-001  
污水処理施設共同整備  
(施設工事・車両購入)

A07-002  
効率的な事業実施のための検討等  
(ストックマネジメント基本計画)

A07-001  
入ヶ洞地区面整備